



# NSTが歯科医に 望むこと

恵愛堂病院 栄養課<sup>1)</sup> 看護部<sup>2)</sup> 外科<sup>3)</sup>

○狩野彰子<sup>1)</sup>長澤玲子<sup>1)</sup>高橋みゆき<sup>2)</sup>

大石あき子<sup>2)</sup>吉田容行<sup>2)</sup>山内紀子<sup>2)</sup>

倉澤真未<sup>2)</sup>上出剛史<sup>2)</sup>山田勲<sup>3)</sup>東郷庸史<sup>3)</sup>

## ○目的

NST回診時に口腔ケアのサポートとして歯科医の参加が始り、約5ヶ月が過ぎた。現状の各病棟内でのケア・日常の疑問などを明確にし、今後のNST活動に繋げていくとともに、各職員が歯科医に求めていることを理解することで、今後の介入方法について検討を行うことを目的とした。

## ○方法

アンケート用紙の配布

## ○対象


各病棟看護師・准看護師と介護士職員

165部配布

有効回答122部(73.9%)

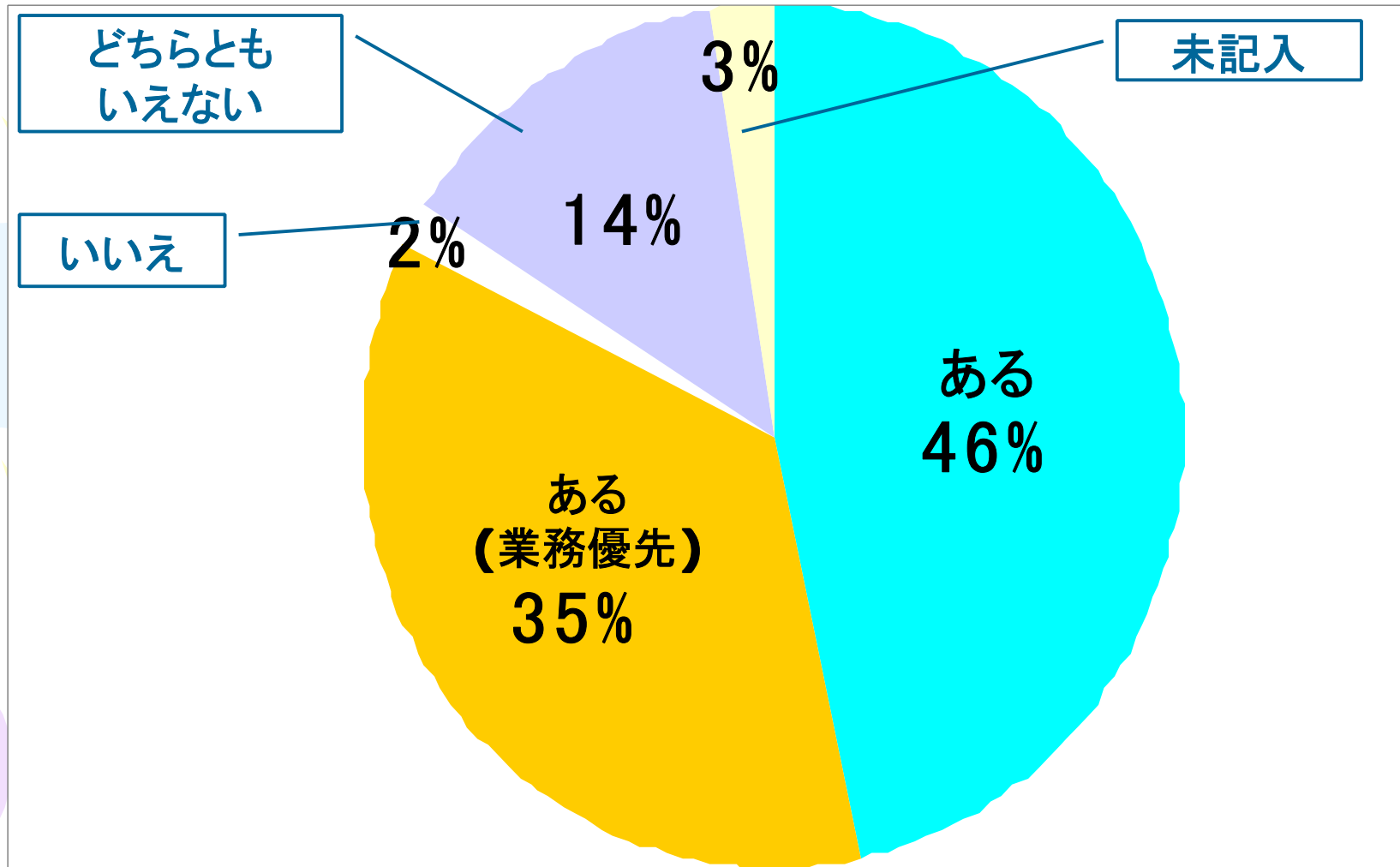


## NSTアンケート内容

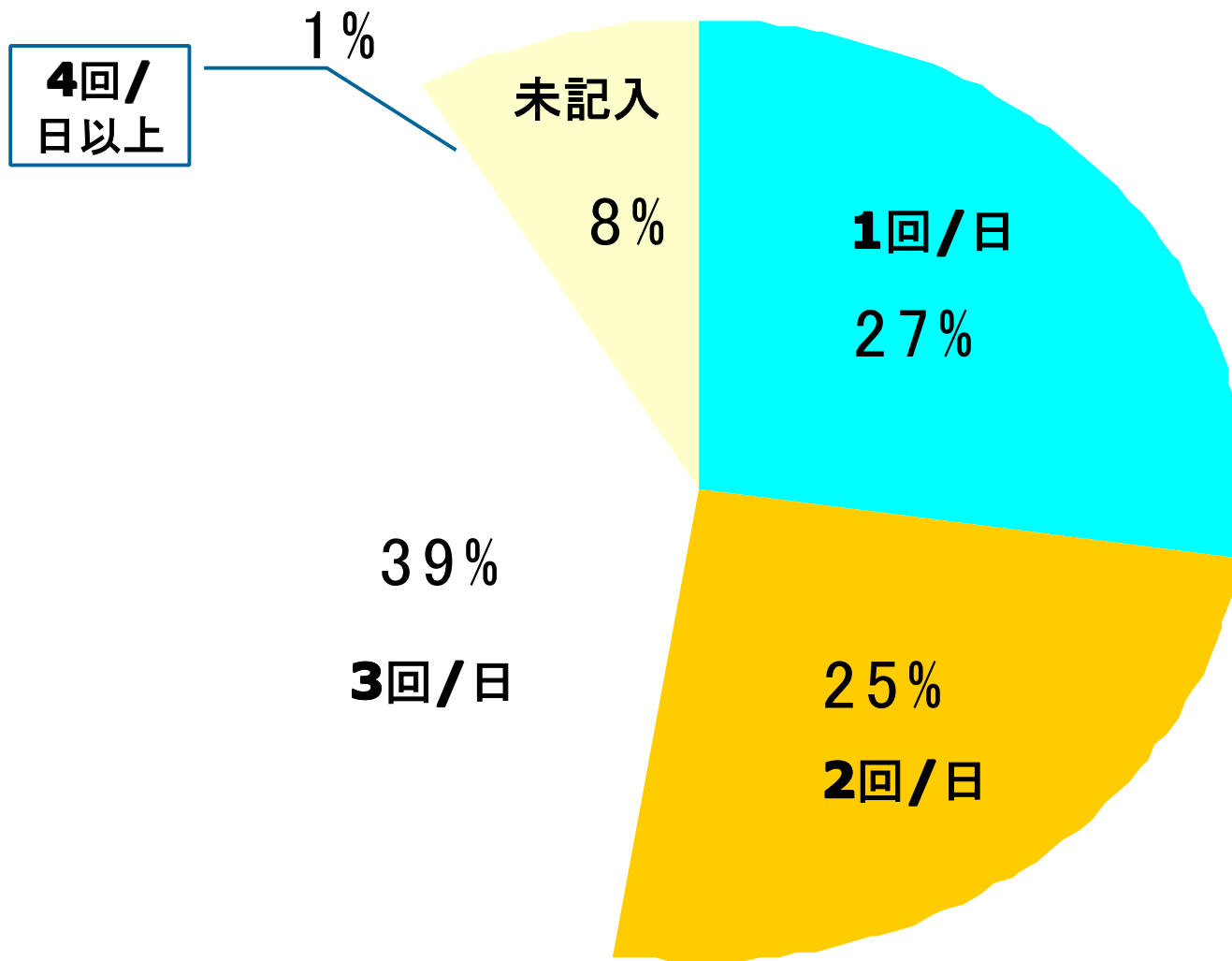
- I 口腔ケアについて興味はありますか？
  - II 病棟で困っていることや疑問思っていること。
  - III 現在、病棟にて行っている口腔ケア頻度について。
  - IV 現在、病棟での口腔ケア手技について。
  - V 歯科医の回診参加が始まってから、実際に依頼したことはありますか？
  - VI IVの質問にて「はい」と回答した方は、どんな内容でしたか？
  - VII 今後、NST回診時の歯科医へ依頼したいこと、または要望などはあれば記入してください。
- 

# 結果

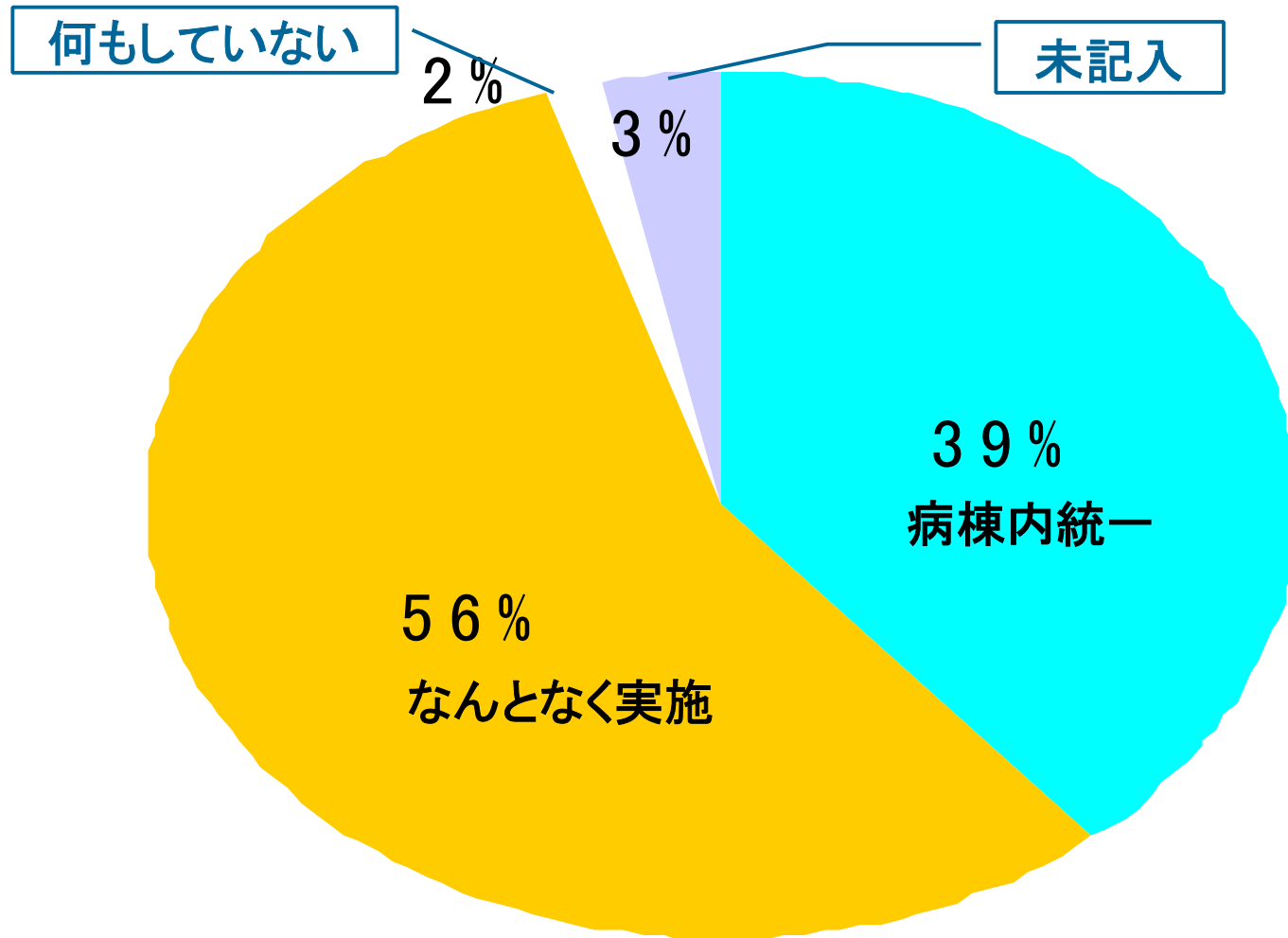
## I 口腔ケアへの興味度



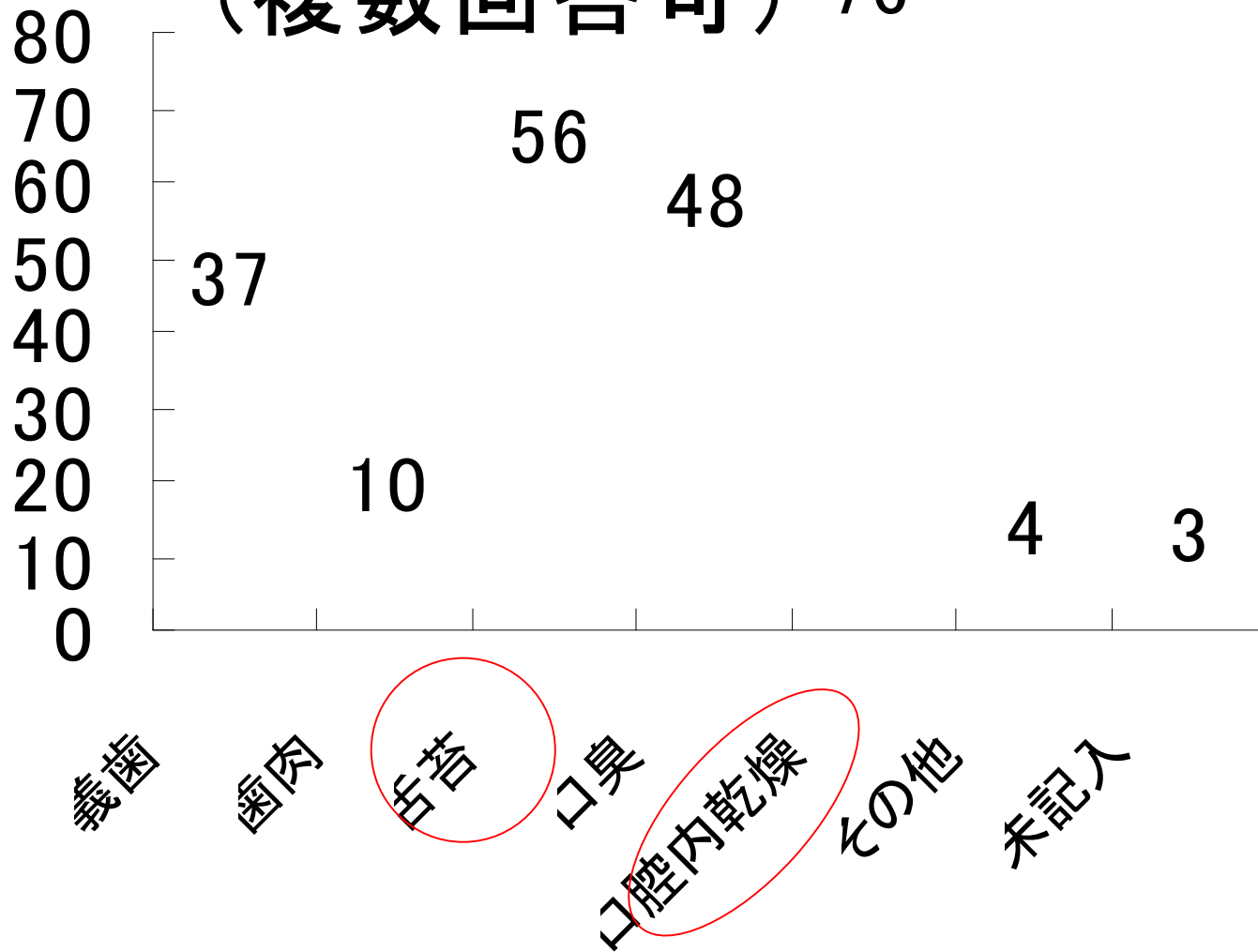
### Ⅲ. 口腔ケア頻度について



## IV . 口 腔 ケ ア 手 技 に つ い て

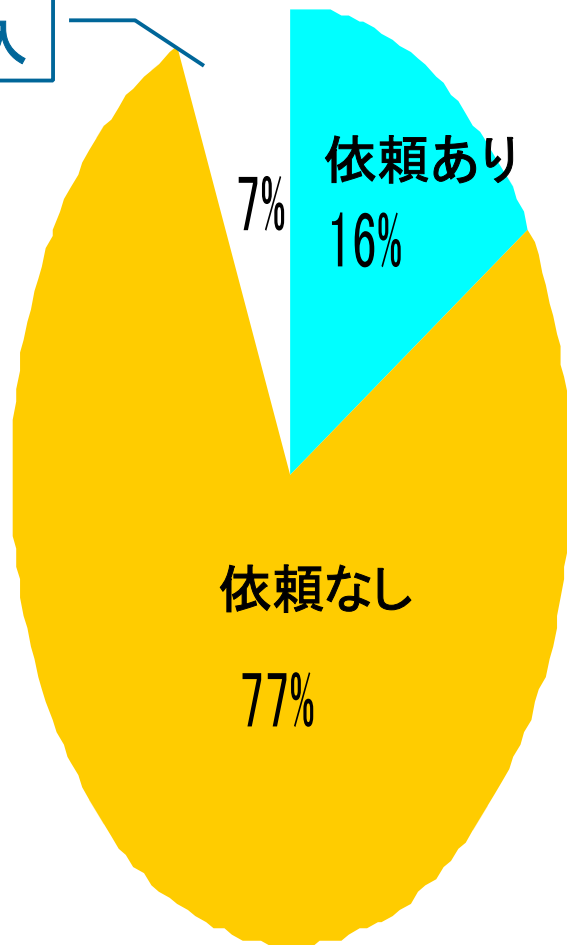


## Ⅱ. 口腔内に対する疑問 (複数回答可) 76



## 歯科医へ依頼の有無

未記入



## ○歯科医への依頼内容

- 義歯調整が大半を占める。
- 口腔内乾燥
- 開口拒否 etc


## ○今後の要望について

- 手技を含めた口腔ケアに関する勉強会開催
- 口腔ケア用品に関するアドバイス
- 口腔内病変に関するアドバイス






## まとめ①

- 口腔ケアへの興味・関心は、約8割近い職員が持っているものの、その半数の職員には日常業務に含まれていないということが分かった。
  - ケアの頻度では、全体として「1～2回」が半数を占めていた。
  - 手技では、各職員・病棟での認識の差が明らかとなった。
  - 日常業務の中で、疑問などはあるもののNSTへの依頼と直結せず、院内への周知がなされていないことも分かった。
- 



## まとめ②

- 今後各職員間での手技統一や周知徹底を図るため、歯科医監修のもと「口腔ケアハンドブック」を作成し2月より配布した。
  - 口腔ケア用品への対応として、ケア用品専用の自動販売機を導入した。
  - NST勉強会として、口腔ケアに関する実技などを含めた啓蒙活動の継続をさらに行う必要があると考える。
- 



### 口腔ケアの手順

#### (1) 清掃用具の準備

（歯ブラシ、スポンジブラシ、舌ブラシなど）

#### (2) 体位を調整

- ・誤嚥防止のためベッドはなるべく起こしておく
- ・薬で安定した状態にして頭を横に傾け顎は引く

#### (3) ケアの実施

- ① 入れ歯をしている場合は外して洗浄しておく
- ② 可能なら、うがいをし、出来ない場合にはガーゼやスポンジブラシを水で湿らせてから軽く汚れを取除き、保湿剤を薄く全体に塗る
- ③ 歯ブラシで歯をみがく
- ④ 舌の清掃
- ⑤ スポンジブラシで口の中の粘膜を清掃する
- ⑥ ②と同様の手順で仕上げをする

### 入れ歯のお手入れについて

入れ歯専用のブラシを使って汚れを落とし水で流します。全体的にブラシで磨いてキレイになったら入れ歯洗浄剤を溶かした水に漬けておくとより効果的です。また、入れ歯安定剤を使用している場合には特に注意が必要です。安定剤のなかには非常に粘着力の強い物もあり、安定剤がそのまま口の中に残っていると歯茎の温床になってしまっておそれがあります。入れ歯が合わない場合には、必ず歯科受診しましょう。

### 歯磨きについて

歯ブラシは軽く水で濡らしてから使います。鉛筆をもつように握り、適度な力で「シャカシャカ」と音がするくらいに磨くのが理想です。奥歯から前歯へ、外側から内側など順番を決め磨き忘れの無いようにしましょう。歯は一本あたり20回程度、歯と歯肉の境目にブラシの毛先が45度に当たる角度で小まめに動かすようにします。終わったら、歯ブラシを流水で洗浄し、なるべく風通しの良い場所でブラシ部分を上にして保管しましょう。

### 舌の清掃について

濡らせたブラシや舌専用ブラシなどを使って清掃します。寝たきりの人や経管栄養をしている人は、特に食べカスや舌苔（古い上皮組織などが固まり付着したもの）が見られます。これらは味覚や食べる為の機能を低下させるだけでなく誤嚥性肺炎の原因にもなるので、丁寧に取り除きます。また、舌苔が取りにくい場合でも、保湿剤などを利用して舌を傷つけないように注意しましょう。



### 口腔機能について

口腔機能（摂食、嚥下、会話など）を使わなくなると、唇や頬の内側、舌の裏側などの口腔粘膜に汚れが付きやすくなります。この汚れ（細菌）は口臭の原因となるだけでなく、誤嚥性肺炎を引き起こす危険があるため口腔粘膜を清潔に保つ事が大切です。手順としては、スポンジ状のブラシ等を水で湿らせ、歯から手前に拭くようにします。舌の清掃と同様、口の中を傷つけないように少しずつ丁寧にいきましょう。汚れが取りにくい場合は保湿剤を使うとよいでしょう。

### 保湿剤の塗り方

保湿剤は、口腔乾燥を防いだり、口の中の汚れを落としやすくするために用います。舌の先に保湿剤を適量（1cm程度）のせ、舌を上下左右に動かして粘膜全体にいきわたらせたり、指に保湿剤を付け全体的に塗る方法が一般的です。

### 口腔ケアとは？

口腔内の汚れを取ることで口の中の菌を減らし、むし歯や歯周病の発症を予防すること、またリハビリテーションやマッサージを通じて口腔機能の改善を図ることを口腔ケアといいます。

### 口腔ケアをすると…

- ・むし歯や歯周病の予防
- ・口内炎など、口腔疾患の予防
- ・誤嚥性肺炎の予防
- ・口臭や口腔乾燥の予防
- ・摂食、嚥下、会話、睡眠など口腔機能の維持や改善…

等々の効果が期待できます。



氏名： 患愛堂 太郎

メモ：

ご入院中はタフト24という歯ブラシとスポジブブラシ、舌ブラシを使って毎日口の中のケアを行いました。

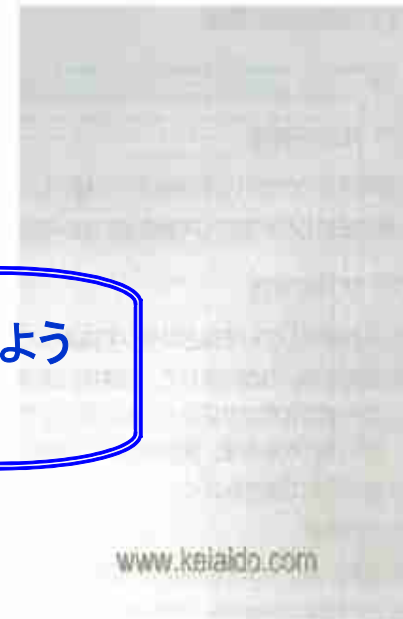
あわせて、口腔乾燥の予防にオーラルバランスという保湿剤が効果的でしたので、退院の後も継続されることをお勧めします。

看護師 山田花子

患者様へ情報提供ツールとなるよう  
コメント記入欄を作成



口腔ケア  
ハンドブック



www.keiaido.com



**FE** e-Front runners

屋内専用

常温販売

マルチパーパス 小型汎用自動販売機

# FMP8S

8セレクション・8ボタン



★食品も雑貨も  
販売できる汎用自販機

★業界最小クラス  
本体幅670ミリ

★LED照明標準搭載

★超省エネタイプ